



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

「義務教育は無償」が憲法の理念

学校給食費無償化の決断を！

並木としえ議員
一般質問



12月11日、並木としえ議員は①小中学校給食無償化の決断を直ちに ②健康で文化的な生活を保障する生活保護行政にの2点について一般質問しました。

県内でも16市町で
全児童生徒が無償

市長選挙のチラシで「学校給食費の無償化をすすめます」とあったことから、岩谷市長に「どのような構想か」質しました。

市長は「地域間格差がうまくれないように国で統一的に実施されることが望ましい」「国で実施されていない現状にあって、多子世帯の無償化や国の交付金などを活用して期間を区切った無償化などを引き続き行ってまいりたい」「国でも議論が行われている中、全国市長会などを通して国で統一の実施を強く要望し、先日は直接国に出向いて26年

度から小学校の無償化をあらためて要望させていただいた」と答弁しました。

並木議員は「義務教育は無償とする」という憲法・教育基本法は、教育の一環である給食も含めて無償とすべきで、「国で統一的に」という考えには共感するが、国の動向が不透明な中、県内16市町ですべての児童生徒の無償化を実施している。春日部でも部分的な無償化でなくすべての児童生徒の無償化の決断を、と強く主張しました。

健康で文化的な生活を保障する生活保護

6月27日、最高裁は生活保護の基準引き下げは「違法」とする統一見解を示しました。しかし、高市政権はこの司法判断に従わず、補償すべき額を引き下げようとしています。「原告に直接謝罪し、全額補

償すべき」と主張しました。

「生活保護を受けたいと思っただが、申請させてもらえなかった」との声が多数あります。生活保護申請は権利であり、誰でも申請できることを説明し、速やかに申請の手続きを行うことを強く求めました。

申請から支給決定まで2〜3週間。当面の生活費がない方は社会福祉協議会で1週間ごとに5千円借りられますが、1日700円程度で暮らさざるを得ず「健康で文化的」には程遠い現状です。生活保護は申請日にさかのぼって支給されるので、当面の生活費を前払いすべき、と求めました。生活保護申請時に現在保険証(資格確認書)を市が預かっています。保険証(資格確認書)がないと患者は医療費の10割を支払うことになり医療を受けられません。申請時に保険証預かりはやめるべきと主張しました。

＜生活相談は日本共産党へ＞

並木としえTEL090-3916-0168 大野とし子TEL090-7843-4945

今尾やすのりTEL090-1032-4833 木下みえ子TEL 050-3559-1640

日本共産党市議団ホームページ

<https://www.jcp-ka.s.ukabe.jp/>



かすかべひがし交流センターは願いに沿って
健康長寿のために、移動手段は重要

大野とし子議員一般質問



12月15日、大野とし子議員は①(仮称)かすかべひがし交流センターは市民の声を聞き、願いに沿ったものに②「地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する基本方針」に基づきデマンド交通の検討をについて一般質問を行いました。

交流センターは市民が 利用しやすい施設に

教育センター再整備計画は、視聴覚センターと粕壁南公民館を廃止し(仮称)かすかべひがし交流センター

としての再整備計画案が決定しました。

大野議員は、市は、粕壁南公民館の機能は生かしていくとしているのだから、利用していた方が今まで通り利用することができるとが重要と、かすかべひがし交流センターの考え方について問いました。

①利用定員は視聴覚センター470人粕壁南公民館310人交流センター546人となっていますが、利用していた方が利用できなくなることはないか

②粕壁南公民館には、音楽団体が29団体あります。ピアノは配置するようだが、音楽を楽しんでいる方々が使えるようになるか。

③使用料は、公民館並みに

していくべき

社会教育部長は、「多目的室など部屋数を増やし、スタジオが2室あり、使いやすいものになります。使用料は周辺の施設を参考に考えたい」と答弁しました。

中高生の居場所など、学 び憩う場所を維持すべき

令和6年の社会教育部の案では、ワークショップの中高生の声を生かし、中高生の居場所がありました。

しかし、市長が議長を務める「新地方創生推進本部会議」で話し合われる中で観光施設が1階に入り、3階に鉄道高架事務所が置かれ、中高生の居場所がなくなりました。

大野議員は、「観光施設も賑わいを作り出していくので反対という立場ではないが、公民館機能は生かしていくとの市のコンセプト

から後退したと考えます。

観光施設と事務所を一緒にして若者の声を生かしてほしい」と求めました。

市長は「交流施設を軸として、観光も生かし利便性の向上を図っていきたい」と答弁しました。

健康のために、高齢者の 外出機会は重要

週に一度運動をしている人より、運動はしていないが社会参加している人の方が健康寿命が長いとの研究が進む中、国土交通省は「公共交通の利用促進による外出機会の増加は住民の健康増進に寄与する」等の基本方針を打ち出しました。

大野議員は、移動は人権であり、広い農村部を持つ春日部にとって、誰一人取り残さない移動手段として、デマンド交通を検討すべきと求めました。

休日の当番医

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119

12/21(日)悠和在宅クリニック(内科系)中央1-1-8 TEL760-3477 春日部いじはなファミリークリニック(小児科系)イオンモール内 TEL797-8027ようこ皮膚科(外科系)大沼2-62-24 TEL612-3555

12/28(日)かすかべ消化器内科クリニック(内科系)谷原新田2177-1 TEL796-0230あゆみクリニック(小児科系)大枝400-4 TEL731-3283いかわ耳鼻咽喉科(外科系)大倉378-4 TEL746-8733